

れきみんかん7千とびっくす

①英語版チラシを作成しました！

近年、飯島陣屋に海外からのお客様が多くお越しになりつつあります。現在は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により来館が難しい状況ですが、コロナ終息後には多くの皆さんにお越しいただきたいと思い、作成しました。

チラシは、飯島陣屋や飯島町教育委員会でお分けいたしますので、ご希望の方はお気軽にお声掛けください。(数に限りがございます。)

飯島陣屋英語版チラシ表(左)・裏(右)→



飯島町歴史民俗資料館でのプチ話題をお届けします！

②高校生及び18歳未満の子どものみなさんの入館料が無料に！

令和2年7月1日より、全国の高校生及び18歳未満の子どものみなさんの料金が無料となりました。今まで有料だった上伊那地域以外の小・中・高校生の皆さんも無料となりますので、ぜひお気軽に足をお運びください。

令和2年『広報いじま未来飛行12月号』表紙(発行：飯島町役場)↓



③いろいろの火をライブ配信！

令和2年11月25日、「いろいろの火」のライブ配信を、IIJIMANOTE(飯島町観光情報) Facebookページでおこないました。この時の様子は、広報いじま未来飛行12月号の表紙にもなりました。(右画像)

来館が難しい時期ですので、オンラインでいろいろの暖かな火を見て、音を聞いて、癒されてみてはいかがでしょうか？当日の様子は、下記からご覧になることができます。

IIJIMANOTE Facebook ライブ配信URL >> <https://fb.watch/btowlzhGCP/>

IIJIMANOTE Facebook ライブ配信QRコード ⇒ 

④きれいな花を咲かせています。

令和3年1月末、飯島陣屋の紅梅が一足早く花を咲かせました。友の会の皆さんによる手入れのおかげで、毎年きれいな梅を見ることができます。例年ですと、見頃は3月中旬～末ころです。紅梅のほかにも白梅、水仙、芝桜、藤、牡丹などもご覧になることができます。

最新の様子は、飯島陣屋のツイッター(@ijimajinya)や、ブログ「飯島陣屋日記」(はてなブログ)で更新していますので、そちらも併せてご覧ください。

ブログ「飯島陣屋日記」

URL >> <https://ijimajinya.hatenablog.com/>

⑤飯島陣屋で「前撮り」のご利用ができます。

結婚式や成人式等の前撮りに、飯島陣屋をご利用いただくことが可能です。

個人単位で撮影を行う際は、入館料(一般300円/人)でご利用になることができます。前撮りなどの他、様々なシーンの撮影も可能ですので、飯島陣屋での撮影をご希望の方は、飯島町教育委員会までお気軽にお問い合わせください。(新型コロナウイルス感染拡大状況により、ご予約をお受けできない場合がございます。)



飯島陣屋
牡丹 梅
藤 水仙
(令和3年撮影)

飯島陣屋だより No.20 2022

発行/飯島町歴史民俗資料館 〒399-3702 長野県上伊那郡飯島町飯島 2309-1 TEL 0265-86-4212 FAX 0265-86-5596

「いいちゃん名所めぐり散歩 + (プラス)」講座のご紹介

(いいちゃん名所めぐり双六イラスト/鮎澤正人氏)



飯島陣屋



R1.9.7



本郷神社



R3.9.19



R2.6.20

開講7年目を迎えました！

「いいちゃん名所めぐり双六」(飯島町図書館貸出)に紹介されている町内48か所の名所をめぐりながら、地域を学ぶ講座として開講しています。

開講以来、多くの名所をめぐれるよう、コースを考えて実施してきました。ミニ名所めぐり散歩講座(いいっ子センター利用者対象)も含めると、総回数は22回を数えます。

今年度からは、石造物めぐりや、文化財標柱・看板の清掃をとおして身近な歴史にふれる内容を含んだ「いいちゃん名所めぐり散歩+」講座へとパワーアップしています。今後も内容を工夫して実施していきたいと思っております。興味のある方は、飯島町生涯学習センターまでお問い合わせください。



H30.2.24



日曾神社



日方磐神社



遠見石



関の地藏尊



H30.6.4

飯島町歴史民俗資料館・飯島陣屋 開館日・時間短縮中です。

※状況により、ご予約による開館ができない場合や、急きよ臨時休館となる場合がございます。(2022年3月現在)



【開館日】毎週木・金曜日、第2・4土曜日 ※祝日は休館
(飯島町が緊急事態宣言・まん延防止等重点措置適用となった場合や、長野県感染警戒レベル5以上の場合は休館となります。)

【開館時間】午前9時～午後4時まで(入館は午後3時30分まで)

- 注意 事項
- ①来館をお考えの際は、事前に飯島町ホームページ等で最新情報をご確認ください。
 - ②休館日での見学や、5名以上での来館(団体での見学も含む)をお考えの場合は、3日前までにご予約をお願いいたします。
 - ③入館時には、入館チェックシートへのご記入や検温、手指消毒等にご協力をお願いいたします。
- ※詳しい注意事項については、飯島町ホームページでご確認ください。

コロナ禍における飯島陣屋でのイベント

飯島町歴史民俗資料館でのイベントについて活動報告します。



飯島町地域おこし協力隊 渡部唯子さん

令和2年は、新しい生活様式のもと、一部形や内容を変えながらイベントを開催しました。例えば、令和3年5月5日のこども日には、毎年恒例の五平餅づくりの代わりに、折り紙でこのぼりやコマづくりをおこないました。

また令和3年5月から、伝統技術承継事業（わら細工）分野の地域おこし協力隊・渡部唯子さんが飯島陣屋を拠点とし、わら細工製作活動をおこなっています。渡部さんとコラボしたイベントも開催しました。今後も連携し、さまざまな面から飯島陣屋を盛り上げていきたいと思ひます。

わたなべゆいこ



陣嶺館&陣屋無料開館（令和2年11月6日～8日 令和3年11月5日～7日）

毎年恒例の飯島町陣嶺館、秋の特別無料開館は、11月3日（文化の日）を中心とした「文化財保護強調週間」に合わせて開催しています。令和2年度からは飯島陣屋も同じ日程で無料開館をおこない、地元の歴史に改めてふれていただく機会となりました。期間中、陣嶺館では土器に触れることができる時間や解説の時間も設けました。文化の秋に、陣嶺館と飯島陣屋の両方をゆっくり見学していただくことができました。

菊の花が咲く飯島陣屋でわら細工体験！（令和3年11月6日）

地域おこし協力隊の渡部さんを講師にお迎えし、わら細工のワークショップを開催しました。午前中は「亀」づくり、午後は「みごぼうき」づくりをおこない、のべ8名の方のご参加をいただきました。参加者の皆さんは、渡部さんに教わりながら丁寧に作品を仕上げていました。



↑午前の部 亀づくり
↓午後の部 みごぼうきづくり

亀は甲羅の部分を編み、縄を縛って頭や体の部分を作っていきます。自分で作った亀は愛着がわきます！



みごぼうきは、みごの部分をとるところから始まります。束にして結んで作ります。長さを合わせて結ぶ時が少し難しいですが、やり方が分かるとすんなりできました！



まゆ玉&書初めイベント（令和3年1月9日 令和4年1月8日）

毎年小正月（1/15）の時期に開催しています。令和3年は「まゆ玉&書初めお守りづくり」として、アマビエのお守りを作りました。令和4年は「まゆ玉&書初めカレンダーづくり」として、今年1年の抱負などを書くカレンダーを作りました。小正月の御物づくりもおこない、地域の伝統行事を体験していただく機会となりました。

イベントの最後には、毎年恒例となった書道パフォーマンスもおこなわれ、書家の堀越寿高先生に今年の一文字を書いていただきました。



↑令和3年の一文字「結」
↓令和4年の一文字「彩」



生涯学習センター講座

生涯学習センター講座について活動報告します。

ふるさとを知る

令和2年度の生涯学習センター講座では、「ふるさとを知る」講座が、9月～12月に全4回の日程で開催しました。

長年にわたり、飯島町文化財調査委員を務められた4名の方を講師にお迎えし、これまでの調査や研究の成果をお聞きすることをとおして、飯島町の歴史について考えるきっかけとなるよう、以下の内容で開催しました。



- 第1回（9月2日）：桃澤匡行さん（元飯島町文化財調査委員長）
「飯島町の歴史の流れと伊那の三女」
- 第2回（10月7日）：中島淑雄さん（元飯島町文化財調査副委員長）
「チャンキレで分かったふるさとの歴史 ～わたしの考古学的体験～」
- 第3回（11月4日）：堀内祥平さん（元飯島町文化財調査委員）
「田切の里に木食聖がやって来た 遺物解説」
- 第4回（12月2日）：三石繁さん（元飯島町文化財調査委員）
「七久保村発展の源流となった先人の人々のやさしい生き方」、映像 私達の郷土「おかいこ」

本講座をとおして多くの皆さんにご参加いただき、また郷土飯島町について、様々な側面から学んでいただくきっかけとなりました。

中田切川テフラ観察会

令和2年3月の河岸工事に伴い、中田切川（春日平付近）に出現した露頭や中田切川テフラについての学習会と現地観察会を、令和2年6月21日に開催しました。講師には松島信幸さんをお迎えし、町内外から多くの皆さんにご参加いただきました。

今回出現した赤土には、中田切川テフラにある角閃石が含まれていないため、テフラではなくロームと砂が混じった堆積物であると判明しました。観察会では、過去に確認できた中田切川テフラと、今回出現した露頭との違いなどを学び、飯島町の地層、中央アルプスの誕生について思いをはせながら観察していました。



令和2年6月2日 松島先生による調査



令和2年6月21日 中田切川テフラ観察会



はじめての古文書

「古文書に興味はあるけれど、何て書いてあるか分からない…」、「家にある古文書を自分で読んでみたい…」、「博物館で展示している古文書を読めるようになりたい…」といった初心者の方に向けて、令和2年度から新たに「はじめての古文書」講座を開講しました。

町内に残る古文書を中心に毎月読み進めています。毎月第3月曜日（予定）に開講していますので、興味のある方はお気軽に飯島町生涯学習センターへお問い合わせください。



町内に残る古文書を読んでいきます。